

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年11月4日

事業実施地区	川端区
事業名	防災倉庫の設置と運用
団体名及び 代表者名	(団体名) 川端自主防災会 (代表者名) 樋口文一 (連絡先) 080-1065-5044

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

・防災倉庫を設置して、地震など災害への備えを強化する。 ・防災倉庫に、防災関連用品機器、備品、非常食などを備えておく事で災害時に迅速な対応ができる。 ・防災倉庫を活用した防災訓練による様々な体験をすることで、区民の防災意識の高まりが期待でき、災害への備えの大切さを共有できる。 ・防災倉庫内の防災機器、備品、非常食などの適切な維持管理を行う。	【事業完了日】 令和7年10月26日 【総事業費】 334,070円 【補助金額】 80,000円
--	---

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

・10月26日防災訓練の実施、雨天により外での訓練中止、公民館内で区民、役員、消防署員合わせて79名（うち5名の子供たち）の参加で実施。 ・防災倉庫内の簡易トイレ、個室テント、段ボールベッド、リヤカー等、舞台に展示して区民に使用方法など確認してもらい防災意識への備えの大切さを知ってもらえた。 ・今後も災害時に必要な防災用品を備え、地域に根づいた区民の理解と協力をえられる防災倉庫にしていきたい。
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)	今回は、雨天で外での訓練ができなくて残念、次年度はより充実した防災訓練となるようにしたい。			

■今後の取組予定

・防災倉庫内の防災機器、備品、水、非常食の備蓄状況など倉庫内の点検を月1回程度行い防災倉庫内の整理、整頓、清潔に努め防災用品の維持管理を行う。 ・防災倉庫を中心とした質の高い防災訓練にするために、災害時に必要な機器、備品など常に頭におき、補助金制度を使い備えていく必要がある。

完成した川端区の防災倉庫 (令和7年7月29日)



防災倉庫の内部（10月30日）



保存水（左）や発電機（右）



段ボールベッド（左上）や簡易トイレ・テント（左中）
折り畳みリヤカー（左下）

支所発地域力向上支援金 事業評価(古牧支所)

令和7年11月4日

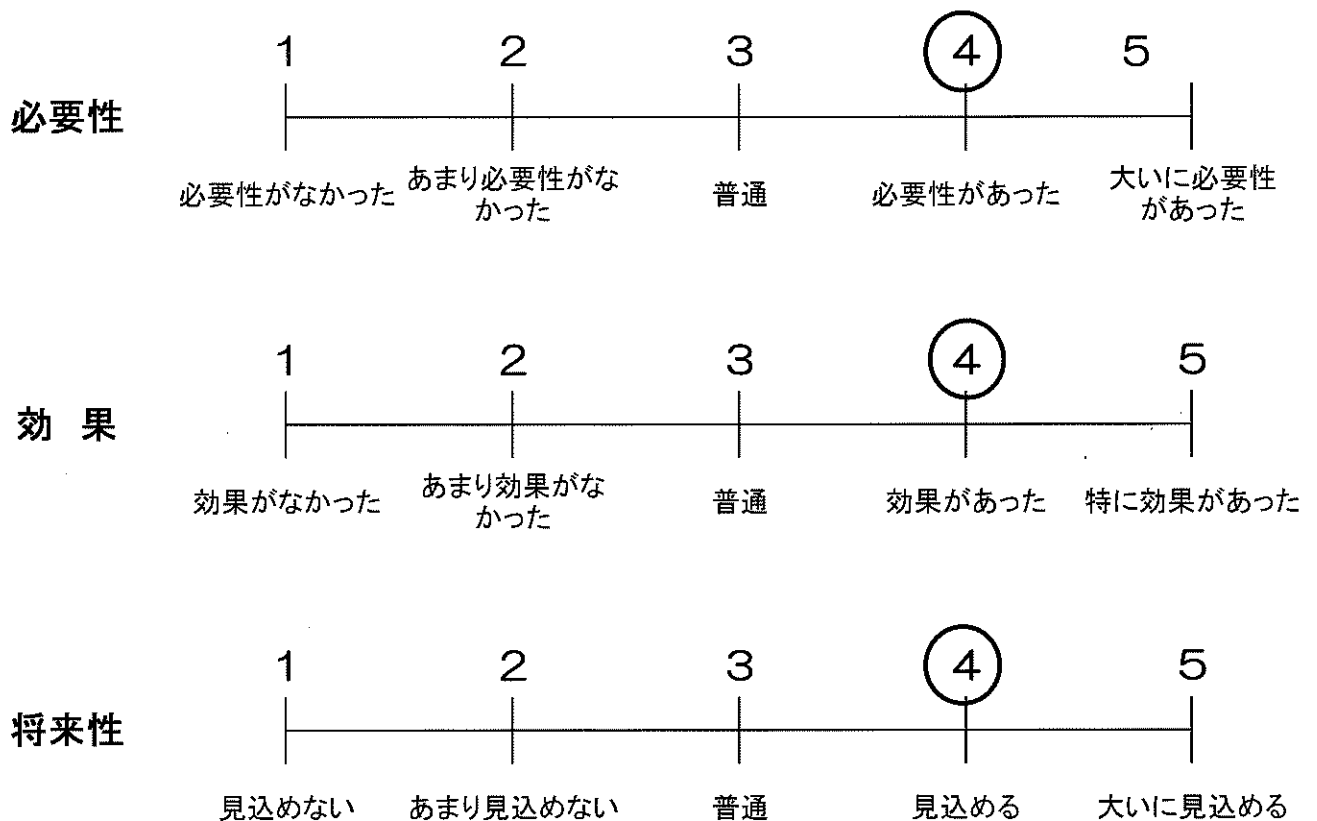
事業名	防災倉庫の設置と運用
-----	------------

団体名	川端区
-----	-----

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分

安全安心活動



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

川端区には防災倉庫が無かったため、防災用品は公民館内で保管していたが、1か所にまとまっていなかった。今回、公民館に隣接して防災倉庫を設置したことで、区民が災害時に迅速に必要なものを準備することができるようになった。

10月26日(日)に区の防災訓練を予定していたが、雨天により屋外での訓練は中止となったが、公民館内で防災倉庫内に保管する簡易トイレ、個室テント、段ボールベッド、リヤカー等を配置して使用方法についての訓練を行った。訓練を通して区民の防災意識の向上や災害への備えの大切さを共有できたとの報告がありました。定期的な訓練とともに倉庫内の防災用品の点検や備蓄品を維持管理していただくようお願いいたします。